マリア 米国出身の元カトリック信者（下）： イスラ ムの

：

明:神の 存を 信した の彼女の意 。

目: 事新改宗者ムスリムの逸 女性

より: マリア

日23 Jun 2014

集日 23 Jun 2014

省　40代以降

私はイスラ ムの教 についてじっくりと みました。それらは矛盾しておらず、理にかなったものでした。イスラ ム的人生についての 明、そして社会における男女の役割とは、 争ではなく、相互扶助だというのもとても 理的でした。それを んだ 、私は女性としての自分自身に本能的に感じていたことが、 に本来の性 にそったものであるということを理解することが出来ました。私は女性としてだけではなく、人 の一 として、品位を められることなく、高 を感じました。私は人生で初めて、本来の自分というものを感じ始めました。私は 省するかのような感 を得ました。そして私はクルア ンを みました。それはアラビア の原本ではありませんでしたが、英 の章句を んだだけでも大きく、最も しい形の平 を感じました。それらの章句には、私が人生を通して抱き けつつも、明白な答えが得られないままだった疑 の多くが答えられていました。クルア ンを むうちに、私はその非の打ち所のない 理、そしてそれの与えた私への影 から、それが神の言 であることを 信し始めました。私はそれがクルア ンの性 の一つであること、そしてそれが人 の魂に落ち着きを与える“バラカ（恩 ）”であることを学びました。

その 、 を ずして、私は妊娠出来るようになることを期待して手 に望みました。手 は成功しましたが、依然として妊娠出来る可能性は非常に薄い状 でした。当 の私は、クル

ア ンを定期的に み、イスラ ムについてもっと学ぼうとしている状 でした。私は えず をけ、イスラ ムの空 に身を浸していました。どこの道端からも こえてくる礼 への呼びかけが大好きでしたし、ある日モスクで礼 をするために、夫にイスラ ム学 の最高学府として知られるアズハル大学へ れていってもらいました。そのモスクはテレビで たことがあり、とても心を惹かれていました。そこへ行くと、あたりは静寂で、しばらく散策した 、クルア ンを みつつ、静かに座っていました。とても素晴らしい平 な が ぎました。 途につき、道のりを半分程行ったところで、私は思わず立ち止まって足元を やりました。 道を感じることが出来なかったため、私の 足が地面に着いているかどうかをするためです。私は空 を いているかのような感 に囚われていました。それが私に してのイスラ ムの 果でした。空中浮 しているような感 が、 的なものとなっていたのです。

当 、その多くは束の だったものの、とても多くの不思 な体 をし、私は神が自分と共にあることを心から信じ始めました。その中でも最高のものは、翌年、かわいい娘を授かったことです。それは本当の、神からの りものでした。手 を行った医 でさえ、そのことには いていました。その女医がそうした手 を行うのは初めてだったため、彼女は成功の可能性が小さいということ以外には 果を予 することが全く出来なかったのです。（その も神は私と共にいてくれました）。

私たちは米国に移住し、4ヵ月 の秋に娘を出 しました。その翌年には、夫の家族の要望に答え、彼らに新たな家族の一 をエジプトまで 合わせに行きました。 国前、私は正式にムスリムになることを 意しました。神は非常に多くのしるしをお示しになり、私はこれこそが明白な道であることを 信したのです。それで私はアズハル大学モスクへ行き、「唯一なる真 の神以外に神はなく、ムハンマドは神の使途である」と 言しました。 在、私は40代になりましたが、これまでの人生を つめ直してみると、特に 去10年 の 々な出来事には神の手がかかっていたことを めることが出来ます。常に真 を（善かれ しかれ）探求していた者として、 人的体 から、神こそが唯一の真 であるということを しました。私たちはただ、目 耳 心を き、真 をありのまま めるだけでいいのです。

“??”??????41?53?54?

イスラ ムを　することは、 限の　のある 宝を　するようなものでした。イスラ ムのおかげで、私は自分自身を　しました。 体ある　から、私は神の存在を 出しました。神は 大で しい、慈悲深く常に 守ってくれる御方です。私は 然たるもの、そして自分の人生における意 深い、明白な方向性を い出しました。神はとても多くのものを授けてくださいました。それには心と魂の最も奥底の 望と完全に共 してくれる、 のような家族が含まれます。神こそは最も完全な方法で供 する御方なのです。私にはイスラ ムとクルア ンという、神によって提供された素晴らしい しによって、平 な心と魂がもたらされました。私にとって神による最も 大な りものとは、神が私の魂に触れ、神の 大さ、慈 深さ、慈悲深さを感じさせてくれたことです。神の恩 により、私はアル＝マハディ ヤ（正しくかれし者）となりつつあります。最善で生 的、かつ最も思いやりのある人 になることの出来るよう、神はその最 のメッセ ジを最も完全な方法で人 に送りました。それはイスラ ムの道であり、平和の道です。キリスト教との 人的な　は、私にとても い期 の空虚さを与え、その　を めることは出来ませんでした。しかし、イスラ ムはユダヤ教 キリスト教 イスラ ムが全て同一の神から来るものであり、それぞれが神によるメッセ ジを携えたため、敬意に するということを きます。私はキリスト教徒として生まれましたが、私の魂にとってはイスラ ムこそが真の道なのです。 在、私は神との 固とした　を き上げたため、イスラ ム的 点から他の　的一神教の　を めることも出来るようになりました。私の中にはもう　はありません。私は 省したのです。

“?????????????????????

??????????????????

????????????

????????????

????????????????????????????????????

????????????????????

????????????????????

??????????????????????????????”??????1?1?7?

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/1173

著作　2006-2015 断　を禁じます。　2006 - 2023　IslamReligion.com. 断　を禁じます。